

Smile

通信



平成21年7月 編集・発行／埼玉県住まいづくり協議会
〒330-8516 さいたま市浦和区仲町3-12-10(埼玉県住宅供給公社内)
TEL 048-830-0033 ホームページアドレス <http://www.sahn.net>

武藏屋本店 格天井（加須市）



Contents

平成21年度総会	2P
シリーズ埼玉の住まい13 「こいのぼり」と「手打ちうどん」のまち 加須市	表紙 4, 5 P
平成21年度第1回講習会	6 P
国土交通省長期優良住宅普及促進事業	7 P
埼玉県緊急経済対策に応募殺到	7 P
お知らせ	
第5回埼玉住み心地の良いまち大賞 募集開始	8 P
【フラット50】始まる	8 P
埼玉県環境建築住宅賞 募集	8 P

vol.36

平成21年度総会開催

5月26日さいたま市



去る五月二十六日、さいたま市のさいたま商工会議所会館において、平成二十一年度協議会総会が開催された。規定により、宮沢会長が議長となつて審議は進められた。上程、審議され可決された議案は、以下の通りである。

第一号議案 平成二十一年度事業報告(案)
第二号議案 平成二十一年度収支決算(案)
第三号議案 平成二十一年度事業計画(案)
第四号議案 平成二十一年度収支予算(案)
第五号議案 理事及び監事の選任について

このうち、第一号議案と第二号議案、第三号議案と第四号議案はそれぞれ、関連するものとして一括上程された。全ての議案は、全員の拍手によって了承された。

また、第五号議案の新役員、報告事項のうち新運営委員、新事務局長、新会員を掲載した。

平成二十一年度事業報告

情報普及部会

○住生活月間シンポジウムの開催

平成二十年十月二十四日(金) 浦和コルソホール 「環境を考える」

地球と家族にやさしい住まいづくり

うをメインテーマに

第一部：『地球市民として地域社会に暮らす』 異文化コミュニケーター

マリ・クリスティーヌ氏

第二部：『環境共生時代におけるリ

フォームビジネスのこれから』

(株)チームネット代表取締役 甲斐徹郎氏

○会員向け講習会の開催

・第一回講習会：平成二十年五月二十

六日(月) さいたま商工会議所会館

『最近の住宅行政の動向について』

国土交通省関東地方整備局建政部

住宅整備課長 高木直人氏

・第二回講習会：平成二十一年二月六

日(金) インフラ施設見学会 東京電力港区にある寺院地下大変電施設

・第三回講習会：平成二十一年三月二

十六日(木) 平成二十一年度埼玉県

住宅課新規事業について (住宅口)

ン金利負担軽減事業)

○S m i l e 通信

広報部会

第三十二号発行 (平成二十一年七月)
第三十三号発行 (平成二十一年十月)
第三十四号発行 (平成二十一年一月)
第三十五号発行 (平成二十一年三月)

○住宅リフォーム推進委員会

○協議会ホームページに登録事業者のス内入居・相談プラザ その他

○定期講習会を六回実施。(うち一回

○ホームページの改訂 (随時)

埼玉住み心地の良いまち推進委員会

○第四回埼玉住み心地の良いまち大賞

募集内容：身近な「まち」の良さを再発見し、推薦していただく

表彰式：大賞二点、知事賞二点、会長賞二点、審査委員長賞二点、優秀賞四点

・表彰式：埼玉県県民健康センター
・展示会：住生活月間シンポジウム会場
・大宮ソニックスシティ三階テープ
・大宮ソニックスギヤラリー

・応募点数：四六二点

・表彰：大賞二点、知事賞二点、会長賞二点、審査委員長賞二点、優秀賞四点

・表彰式：埼玉県県民健康センター
・展示会：住生活月間シンポジウム会場
・大宮ソニックスシティ三階テープ
・大宮ソニックスギヤラリー

・応募点数：四六二点

・表彰式：埼玉県県民健康センター
・展示会：住生活月間シンポジウム会場
・大宮ソニックスシティ三階テープ
・大宮ソニックスギヤラリー

はシンポジウム併催)

・第一回 四月十九日 九十社

・第二回 六月二十四日 九十一社

・第三回 八月二十一日 七十一社

・第四回 十月二十四日 六十四社

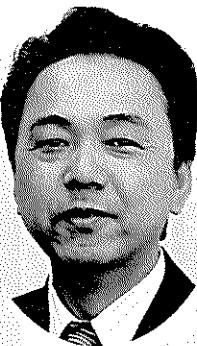
・第五回 十二月十七日 六十九社

・第六回 二月十六日 八十社

・新規登録事業者向け説明会を三回実施

○定期講習会参加事業者への表彰

○埼玉りそな銀行リフォームローン金利軽減を獲得



平成二十一年度を迎えて 会長 宮沢俊哉

を強くしています。住まいの防犯アド

バイザー事業、リフォーム事業者の登

録及び定期講習会、マンションリフォー

ムの分科会、広報活動におきましても、

積極的に活動を行つております。さら

に、長期住宅先導的モデル事業推進ブ

ログエクトチームでは、今後もより多

岐に渡る提案要素を盛り込み申請を行つ

て参ります。

本年度は、長期優良住宅法、住宅瑕

疵担保履行法という二つの大きな法律

が施行され、まさに、大きな転換点と

なる年になろうかと思ひます。このよ

うな流れを常に捉え、より広く会員の

皆様並びに県民の皆様に貢献し、今後

も「住みやすい埼玉、ふるさと埼玉」

として実感できる住まいづくり、住環

境づくり、担い手の育成を目指し、努

力を重ねて参りますので、今後とも皆

様のご協力をお願ひ致します。

○マンションリフォーム分科会
○分科会を六回開催し、その内五回は
それに講師を招き勉強会を実施
○マンションリフォーム相談コーナー
を開設

○マンションリフォーム相談コーナー
を開設

平成二十一年二月二十一日（土）

二十二日（日）

さいたま市市民活動サポートセンター

長期優良住宅先導的モデル事業推進
プロジェクトチーム（国土交通省主催
事業）

平成二十一年度第一回（五月）及び第

二回（九月）の提案応募に対し、協議

会として積極的に研究し、提案申請を

行うも採択には至らなかつた。

二回（九月）の提案応募に対し、協議会として積極的に研究し、提案申請を行つも採択には至らなかつた。

平成二十一年度事業計画

情報普及部会

○住生活月間シンポジウムの開催

○会員向け講習会の開催（年二回開催）

○協議会会員の募集活動についての研究

○会報「S m i l e 通信」を年四回発行する。

○ホームページ改訂隨時。

○協議会活動報告の記者クラブへの投げ込み随时。

○S m i l e 通信「埼玉のすまい」の小冊子検討

○会報「S m i l e 通信」を年四回発行する。

○ホームページ改訂随时。

○協議会活動報告の記者クラブへの投げ込み随时。

○S m i l e 通信「埼玉のすまい」の小冊子検討

○埼玉住み心地の良いまち推進委員会

○埼玉住み心地の良いまち大賞事業

○第四回入選作品集作成

○第五回作品募集 審査 表彰 展覧

○住まいの防犯アドバイザー養成・登録事業

報告事項

新運営委員会

登録者講習会

新規登録事業者向け制度説明会

定期講習会参加者への表彰実施

マンションリフォーム分科会

マンションのリフォーム事業をテーマに勉強会・見学会を行う。

マンション管理組合へアプローチし

“マンションのリフォーム”についての出前講座を開催

住宅施策研究会

宜勉強会を開催する。

長期優良住宅先導的モデル事業推進

前年度同様に、次回の申請提案に向

けての討議や情報収集、新たな提案書

作成に向けての実務的作業を続けることとする。

新役員（理事）

鳥羽山伸夫（新副会長）

財団法人 さいたま住宅

検査センター 理事長

中井 智 独立行政法人住宅金融支

援機構 埼玉センター長

田辺 恵善 ユーディーアイ確認検査

株式会社 代表取締役

新役員（理事）

吉村 直樹 埼玉県住宅供給公社

副理事長

川越 晃 埼玉県都市整備部住宅課

課長

関口 敏彦 （財）さいたま住宅検査セ

ンター 保険部次長

新事務局長

野中 正美 埼玉県住宅供給公社

経営企画室副室長

新会員

新会員

「こいのぼり」と 「手打ちうどん」 のまち 加須市

埼玉県立近代美術館

主席学芸主幹 伊豆井 秀一



内田医院 内玄関



内田医院



松本医院



篠原医院

加須の市街地は国道一二五号と東武伊勢崎線に挟まれ細長く靴状に延びている。その市街地を東西に横断し旧道が走っているが、今回紹介する住宅は大略この旧道周辺にある。

市内でまず紹介したいのは大正から昭和にかけての三軒の医院建築である。

まずは駅から歩いて数分のところにある内田医院。市内の千方神社の裏手にある。大正期の下見板張りの木造二階建て。外まわりは平滑な下見板張りと岩のような地肌を狙つた『はけつけ』がその色の違いとともに対照的な効果を生んでいる。関東大震災のため、当初の木材の調達に手間取り、工事に遅れが出る。大正十二、三（一九二三、四）年の竣工という。一階は玄関からはいり正面に待合室、受付、左手に診察室、治療室。奥には入院用の部屋。向かって右手の応接室を抜けると客用の玄関を廊下で挟み、和室ふた部屋、さらに居間と食堂という構造。二階は来客用の和室、これもふた部屋。上げ下げ窓の北側の窓からは市街を一望できる。戦争をはさみ、首都防衛のための「拓部隊」という戦車部隊が駐屯していた時期もあり、激動する時代を体験してきた医院建築である。

駅前通を境にもう一軒、篠原医院。近代的なビルの建物の背後にある。

さて、市内には看板建築もある。駅前通の交差点にあつた萩原時

堺で囲まれている。昭和八（一九三三）年築。木造二階建て。実はこちらは本誌の第一回目で紹介した秩父、宮前家を設計した山田醇の設計による。高い破風上部にのぞく二つの丸い穴には見覚えがある。こちらに医院を開業した初代の牧之助氏と山田醇とは卒業した東大が縁だったという。大工も植木職人もわざわざ東京から呼びよせ、付近の家に宿泊をしながらの普請だつたとご自分の小学生時代を想い出しながら語ってくれたのは、こちらから次に紹介する松本医院へ嫁がれた松本富子さん。住宅の衛生的視点を重視した山田醇にとって、医院建築はその真価を發揮するに相応しい対象だったはずである。家の中心軸を日射にあわせ方位の軸線から少しすずらし、少し強めの傾斜をもつ屋根構造など、山田醇の特長を伝える名建築である。

三軒目は旧道を直角に大越新道が北に向かおうとするその右側に立つ瀟洒なたずまいの松本医院。大正初期。木造二階建て。高い天井下見板張りの左右対称の典型的な四本の柱がすつと立つ玄関のボーティコの姿は医術の矜持を表わすかのように凛と美しい。

計店。昭和三(一九二八)年築の木造二階建て。計画道路のため新市庁舎寄りに県内ではじめて『ひきや』で移転している。銅版の緑青ではりめぐらされた建物は時代の風雪にも洗われ、ひときわ美しい。さらに店内に入ると時代を潜ってきた建物の風格をうかがうことができる。見上げれば重厚な格天井、上部に装飾の施された檼のショーケース、入り口欄間の幾何学形のシンプルなデザイン等々。花形の時計職人であつた初代が仕事で出入りした都内の邸宅での見聞が店内の隅々に生かされていると二代目美郎氏は語る。

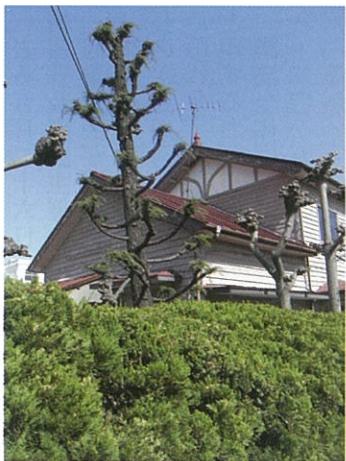
もう一軒は大越新道寄りにある

新井与三郎商店。木造二階建て。昭和十一(一九三六)年築。自転車の卸売りをしていたお店である。檼の重厚な上がり框、太い梁をめぐらした店内は、広く堂々たる構えで表の看板は車で走つても眼につく。

この新井与三郎商店から旧道を市内中心部に歩いていくと**鈴木米店**などの木造二階建ての町屋の商店を見かけることができる。また、藍の栽培が盛んにおこなわれ、この辺りは青縞の取引の中心地として加須周辺の北埼玉地方では綿花や藍の栽培が盛んにおこなわれ、この明治四十三(一九一〇)年築の木造二階建て。現在六代目。何度も改修されているが、揚げ戸で店を開閉し

二階建て。計画道路のため新市庁舎寄りに県内ではじめて『ひきや』で移転している。銅版の緑青ではりめぐらされた建物は時代の風雪にも洗われ、ひときわ美しい。さらに店内に入ると時代を潜ってきた建物の風格をうかがうことができる。見上げれば重厚な格天井、上部に装飾の施された檼のショーケース、入り口欄間の幾何学形のシンプルなデザイン等々。花形の時計職人であつた初代が仕事で出入りした都内の邸宅での見聞が店内の隅々に生かされていると二代目美郎氏は語る。

もう一軒は大越新道寄りにある



サイホク総業事務所

祭りに繰り出される山車が収蔵されている土蔵を脇に**清水薬局**。中心部からは少し離れているが、節分のときにはメディアが取り上げる関東三大不動のうちのひとつ、總願寺前にある**武藏屋本店**。店内のユニークな格天井は必見である。最後に住宅ではないが、産業関連の建物を紹介しておきたい。駅から東武伊勢崎線に沿つて歩いて数分の**埼北総業事務所**。下見板張りの木造二階建て。大正末の建築。生糸の生産に用いられる繭を乾燥させるための倉庫(乾繭倉庫)の事務所であった。その倉庫は背後に三階の威容を誇り健在である。時代を経、産業の盛衰とまちの歴史を見守りながら新しい事務所として現在も活躍している。



鈴木米店



新井与三郎商店

伊豆井秀一(いづいひでかず)
昭和二十四年生まれ。埼玉県立博物館、埼玉県立近代美術館、埼玉県教育局生涯学習課を経、現在埼玉県立近代美術館主席学芸主幹。専門は日本近・現代美術。著書に『昭和の美術』(共著 每日新聞社)、『小茂田青樹画集』(共著 日本経済新聞社)など。



清水薬局



内田糸店



萩原時計店 店内



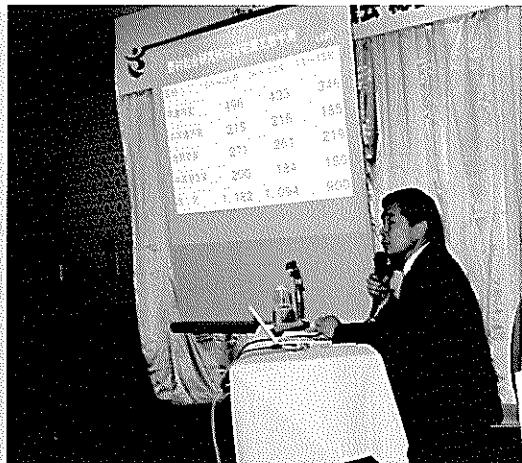
萩原時計店

「いのぼり」と「手打ちうどん」にこうした文化資源を組み込んだまちづくりができるものだろうか、さらに、日本の近代美術史上重要な足跡を残した斎藤与里も加えれば、などと考えてみるのだが。

100万戸時代に生き残る ビルダーの経営戦略

株式会社 住宅産業研究所

会長 平野秀一氏



去る五月二十六日、総会終了後に、情報普及部会主催の平成二十一年度第一回講習会が開催された。

講師に株式会社住宅産業研究所会長の平野秀一氏をお迎えし、「百万戸時代を生き残るビルダーの経営戦略」と題するお話を伺った。

講演全体は、

一二〇一五年の住宅産業はどう変わ

るか

埼玉県の住宅市場はこう変わった
今年取り組むべきビルダーの課題
不況下で利益の出る体質をどうつ
くるか

今年取り組むべき商品開発テーマ
不況期に成功する販売戦略

と、多岐に渡る内容だったが、この紙
面では冒頭の一二〇一五年予測を紹介し
ます。

講演

ご承知のように今、非常に変化が激
しくて、ご紹介いただきましたように、
私は昭和四十五年から四十年ほどもこ
の業界に携わっていますが、その中
でも多分最大の変化だと思っています。

そういう意味では今、大きな踊り場
に来ています。その踊り場は、かつて
のように山あり谷ありの中で、またい
つか上がるという踊り場ではなくて、
基本的には右下がりで下がっていく中
での踊り場かと認識せざるを得ません。
これから中期、一二〇一五年ぐらいあ
りまでを見据えて業界がどういうふう
に変わっていくのか。足元で今どんな
ことが問題になっていて、ここに参加
されている企業さんが、これからどん
なことをやつていけば生き残つていけ
るのか。そんなことに参考になるお話
ができたらというふうに思つております。

減少する着工戸数

まず最初に、注文住宅の着工数は、オイルショック直前の八十万戸から徐々に下がってきて、いま三十万戸そこそこのところまで来ています。埼玉県もかつては四万戸以上、注文住宅の着工があつたものが、昨年一万九千八百戸ですが、それぐらいまでちょっと落ちています。

野村総合研究所が最近行つた着工数

の五年ターム予測では、一二〇〇六年から一〇年までが、年平均百九万戸。それが十一年から十五年が九十万戸とかなり厳しい見方なのですが、ほぼ私どもの見方と似ています。私どもは、十五年あたりが九十万戸という見方をしている。アベレージで九十万戸といふことは、多分一二〇一五年ごろといふのは九十万戸ないと思うのです。右下がり状況になつていくとすればですね。

多分この予測で一二二、三年ごろ

に九十万戸になつて、十五年ごろにはもう八十万戸という、プロセスからいけばそうなると思うのですが、そこまでいくかななどという思いはありますけれど、これに近いものというのをやつぱり覚悟せざるを得ないのかなというふうに思います。そういう意味で長期を考えた場合、大きい変化として、着工数が間違いないく、これからかなりドラマチックに減つていくということがまず一点あると思うのです。

ボストン塊ジユニア世代が主役

二番目に、住宅市場、中核になつてゐる世代は、いわゆる団塊ジユニアと言われる、三十代の人です。ですから、皆さん、コストダウンであるとか、土地の紹介であるとかというのを必死でやります。

そういう状況は、つまり若年層がマーケットの主役という状況が一二〇一五年まで続くかどうかは疑問です。

その一番大きい理由は、今三十四歳から三十八歳の団塊ジユニアが大きい

人口の固まりなわけです。通常この世代にかかわらず、住宅取得は三十代後半までがピークだと思うのです。ということから、そこらへんと、来年、再来年あたりから団塊ジユニアの先頭が四十代に入つていくわけです。つまり、持ち家の取得、住宅の取得が一段落します。

実際、マンション業界ではもう、団塊ジユニアは主役ではなくなつて、その後ろ、ボストン塊ジユニアへ移つてゐるのです。団塊ジユニアとその下の世代とでは、ボリュームがすごく違つて、三割ぐらい減ると思います。です

から、そういう意味で、今は若年層、ここ何年かは若年層中心の戦略で間違ひはないけれども、少し長い目で見ると、そこへ一本では危うさもあるかも

しません。

リフオームが新築市場を上回る

それから、もう一つ、大きい変化、これはもう既に皆さんおやりになつてゐると思いますけれども、それだけ新築マーケットが減つていくわけで、当然周辺部といいますか、ストック市場に力を入れていかなくてはいけないと、いう状況になるわけです。

国的基本の政策目標どおりにリフオームマーケットが拡大して、一二〇一五年ぐらいに新築住宅市場をリフオーム市場が上回る、金額で上回ると思うのですが、それとも、いずれにしてもリフオーム中心に、仲介、最近話題になつてゐる中古住宅の買い取り再販といいますか、イノベーションみたいなマーケットも含めて、そういうマーケットがこれから非常に重要な役になると。その辺の三つが中期的に見ると非常に大きい変化かと思います。

長期優良住宅

普及促進事業について

長期優良住宅普及促進事業は、地域の中小住宅生産者により供給される木造住宅（一定の長期優良住宅）への助成を行ない、住宅供給の主要な担い手である中小住宅生産者による長期優良住宅への取組を促進する補助事業です。

一 事業の内容

次の要件を満たす住宅が対象です。

- 一 長期優良住宅建築等計画の認定
- 二 住宅履歴情報を整備すること。
- 三 建設過程を公開すること。

二 補助対象となる住宅の供給事業者
直近三年間の平均新築住宅供給戸数が五十戸程度未満の住宅供給事業者で、建築主と建設工事請負契約を結んで住宅の建設工事を行なう方、または買主と売買契約を結んで住宅の建設工事を行なう方。（住宅事業者が組織するグループ・団体による応募も可能です。）

三 補助金額

一戸当たり建設費の一割以内かつ百万元を限度に補助します。

四 問い合せ先

長期優良住宅普及促進事業実施支援室
〒103-10027
東京都中央区日本橋一丁目三
日本橋西川ビル五階
電話03-6214-5909

URL <http://www.cj-j-shien.jp>

申込殺到 初日早々 枠埋まる

埼玉県緊急経済対策 住宅ローン負担軽減事業に大きな反響

埼玉県が、緊急経済対策として実施している「住宅ローン負担軽減事業」の第一期受付が行われ、申込者が殺到するなど大きな反響があつた。

この事業は、業種の裾野が広く経済波及効果の高い住宅建設を促進し、県内地域産業の活性化をねらつた画期的なもので、県と金融機関が提携した住宅ローンを利用して県内に建築された自己居住用の戸建て住宅に對して助成される。

受付は、第一期分として、六月六日（土）～九日（火）までの四日間

に先着順により行われたが、県の予想を遙かに上回る申し込みがあり、予定の先着枠千五百戸は初日の早い段階で埋まってしまった。

平成二十年度の県内の建築確認申請件数は、最近十年で最も少ない約

めで分かった。昨秋のアメリカ・リーマンショック以降の不況の影響を受けたとみられるが、戸建ての注文住宅や建売住宅の着工件数は激減している。
このような中での今回の「住宅ローン負担軽減事業」は、戸建て住宅の建設促進として、まさに経済対策としてこの上ない事業だと言えるだろう。この事業により、住宅建築を悩まれていた方にとっては、大きな追い風となり、多くの方が建築を決断したのではないだろうか。

六月二十六日の毎日新聞埼玉版の記事に、とある事務所の役員の話が掲載されていた。「昨年度下半期には仕事が激減し、特に暮れや正月明けはひどく、同業者と酒を飲んでも、みんな表情が暗かつたが、五月～六月には、住宅ローン負担軽減事業を利用した注文が6件あり、一息ついた。」といふものであったが、これは県内建設業界に係わる者の本音かもしれない。

県では、今回事業により年間四億円、五年間で二十億円の予算確保が必要となる。しかしながら、その経済波及効果は、一千二百億円を超えるとされ、県内経済に与える影響は大きい。

引き続き、厳しい経済状況が続くと予測されている中で、県において

今回の事業の拡大や類似の事業を行うことによる一層の県内産業の下支えを強く期待している。

【住宅ローン負担軽減事業】

【提携ローン】

工口な暮らし応援！住宅ローン

子育て応援！住宅ローン

家族のきずな応援！住宅ローン

※県の定めた利用条件を満たした場合、取扱金融機関において通常の金利よりも優遇された金利で融資を受けられます。

【助成額】融資残高の1%相当額

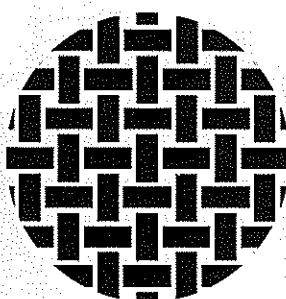
【助成期間】五年

（上限は二十万円／年）

【応募条件】

金融機関による住宅ローンの事前審査を通過していること

募集開始から原則八月末までに着手できること



埼玉住み心地の 良いまち大賞

第5回 募集開始

第五回埼玉住み心地の良いまち大賞実施概要

一 募集作品

埼玉県内の身近な「まち」の良さを再発見し、推薦してもらつて

必須条件は、以下のとおり。

①タイトル ②推薦理由

③写真または絵 ④地図

作品サイズは、A三判 横使い

応募資格や制限はありません

応募方法・応募上の注意

平成二十一年九月十一日午後五時までに郵送・宅配便または持参により事務局へ提出すること。

応募作品は、一人三点までとする。

未発表の自作品に限る。

作品は返却しない。

著作権は応募者に帰属するが、書籍等での発表・掲載における権利は主催者側が保有できるものとする。

四 表彰

大人の部（十五歳以上、ただし中学生は子どもの部に入る。）

①大賞（一点）

：賞状、副賞（図書券五万円分）

②※埼玉県知事賞（一点）「※特別賞」

：賞状、副賞（図書券三万円分）

③※埼玉住まいづくり協議会会長賞（一点）

：賞状、副賞（図書券二万円分）

④※審査委員長賞（一点）

：賞状、副賞（図書券一万円分）

⑤優秀賞（二十点）

：賞状、副賞（図書券五千円分）

：子どもの部（十五歳未満）

*表彰内容は大人の部と同様

十月上旬協議会ホームページ上で発表

また、受賞者には通知と共に表彰式の案内を差し上げます

六 発表

主催・後援等

（埼玉住み心地の良いまち推進委員会）

後援：埼玉県、埼玉県教育委員会

協賛：（株）アキユウホール、（株）小泉北関東

近藤建設（株）（財）埼玉県建築住宅安全協

会（社）埼玉県宅地建物取引業協会、埼玉

県中小建築工業事業協会（株）辰建匠、（株）

中央住宅、東京ガス（株）埼玉支店、東京セ

キスイハイム（株）埼玉支店、日本ホーバス

（株）、（株）ムカイ工務店、（株）山田ハウジ

ング（株）、（株）アイ確認検査（株）、（株）リブラン

*詳しくは協議会ホームページを御覧ください

<http://www.jhf.go.jp/>

【フラット50】
取り始まる

住宅金融支援機構

からのお知らせ

募集
環境にやさしい住宅
埼玉県環境建築住宅賞

埼玉県では埼玉県環境建築住宅賞を創設しました。

住宅部門を平成二十一年七月一日から九月二十五日まで募集中です。

一 対象となる住宅
環境にやさしく、居住性に優れた戸建て専用住宅など

二 応募者
住宅の建築主、設計者、施工者

※ 詳しくは、県住宅課ホームページを御覧ください。
<http://www.pref.saitama.lg.jp/A10/BH00/hyoushou/jyuutakushou.htm>

是非、皆様より自慢のお宅を紹介ください。
皆様からのたくさんの応募お待ちしています。

会員募集中

埼玉県住まいづくり協議会では、会員を募集しております。お取引先や

お知り合いの方で、埼玉の住まいづ

くりに興味を抱いている方にお勧めください。お問い合わせは事務局までお願いします。

融機関は限定されています。また、金利も通常の【フラット35】より若干高くなっています。詳しくは住宅金融支援機

構ホームページを御覧下さい。
電話〇四八一八三〇一〇〇三三（平日九～十二時、十三～十七時）